お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録と DPC データ（Diagnosis-Procedure Combination と呼ばれる、診療データ）を使用します。
この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】
がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院医事課

【研究責任者】松下　祐子（医事課医療情報チーム）

【研究代表者】東　尚弘
（国立がん研究センター　がん対策研究所　医療政策部）

【研究の目的】
過去に受診された悪性新生物（がん）患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、標準診療実施率（ＱＩや臨床指標と呼ばれます。医療の質を具体的な数値として示したものです。これにより医療の質を客観的に評価することが可能となる指標です。）の研究を行うことといたしました。この研究は悪性新生物（がん）における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】
（対象となる患者さん）2013 年 10 月以降に当院を受診された方のうち悪性新生物（がん）と診断された患者さん
（利用する情報）性別、 診断名、 診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細等
【共同研究について】
　この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。
あなたのデータは、匿名化されて、国立がん研究センターに送られます。あなた

の情報を含む多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】
収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい研究の方法をお知りになりたい場合は、「お問い合わせ先」までご連絡ください。他の患者さんの個人情報や知的財産保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【問い合わせ先】
愛媛大学医学部附属病院医事課医療情報チーム　松下　祐子
791-0295　愛媛県東温市志津川
Tel: 089－960－5735